

Minami Kyushu University Syllabus

授業計画 【第12回】	野菜・果物の調理性 野菜料理、調理上の注意点について
授業計画 【第13回】	成分抽出素材の調理性 ゲル化剤の違いによる特徴について
授業計画 【第14回】	対象に応じた食事設定① よく噛む食事・飲み込みやすい食事と調理の工夫について
授業計画 【第15回】	対象に応じた食事設定② 各自又はグループで考えた献立を発表します。
授業の到達目標	食品素材の調理性、調理操作の諸条件や調理課程での食品成分変化等を理解し、説明できるようになり、さらに対象に応じた食事設定と献立作成ができるようになる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学習 【予習】	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解する。（30分程度）
授業時間外の学習 【復習】	授業で学んだ内容を料理本などで確認し、要点を整理する。 授業時に前回の授業内容に関連する小テストを実施するので復習をしておく。（1時間程度）
課題に対する フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験の終了後、解説をします。</li> <li>・課題については、コメントを書いて返却します。</li> </ul>
評価方法・基準	1) 定期試験 60点 2) 課題 20点 3) 学習意欲 20点
テキスト	『調理学』 (公社)日本フードスペシャリスト協会 編 建帛社 *必要に応じて資料を配付します。
参考書	『フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集』 (公社)日本フードスペシャリスト協会 編 建帛社 『各種料理本』 *必要に応じて図書を紹介します。
備考	フードスペシャリスト資格取得に必要な科目。感想等を出席管理に使用します。